



414  
A 1155



銀行者の殖産に注意せサルハカラサルノ説

浩澤 榮一

夫レ銀行ノ者ハ貸借兩者ノ間ニ介立ニテ貸財ノ融通  
ヲ資クルモノニシテ單ニ其業務ノ際要ヲ言ハハ預リ金  
ヲ爲シテ又之ヲ貸付シ及ヒ爲蓄ヲ爲シ公債証券  
地金銀ヲ賣買スル等ノ數項ニ過キス而シテ其之ヲ爲  
ムニ由リテ少シク儲蓄ヲ積セハ必スヤ其業ヲ生スルナ  
クシテ其高ノ利益ヲ收ルヲ得ヘシ今銀行者其業  
ノ保全ヲ爲セハ宜シク其ノ數項ニ於テ只能ク方正確實  
ヲ主トシテ更ニ他ノ考慮ヲ爲セサルハレト  
是通 常先實ヲ失フ業者ノ言ニシテ我輩ハ此  
其業ノナル考案ヲ設テ能ハスルニアラサレモ備既往ニ由テ其  
業ヲ爲セハ殊ニ其業ノ永續ヲ圖テ或ハ抗拒スカラハ一大禍機

大正十一年四月

4170



若初アラニテ知覚セリ則貿易場輸出入平均ナリ是ナリ  
 信フ各位眼ヲ我カ海関ニ於テ調査シタル輸出入ノ一覽表ニ注  
 テ之ヲ熟思セヨ明治一年ヨリ今迄二十年九月ニ至ルヲ百輸出ノ  
 輸入ニ對準シ得タル僅カニ一年ト九年トニアルノミ他ハ皆輸  
 入ノ超過シテ或ハ年ニ倍以上ニ及フヲ見ル然レテ此權衡ノ減  
 差ハ理固ヨリ我カ金銀貨幣ヲ以テ之ヲ候補セサルヲ得サレ終ニ  
 其計畫表ノ如キハ金銀貨幣ヲ以テ本邦第一ノ國產トシテ輸出  
 スルノ觀ヲ為サシカ是實カニ吾人ノ共ニ寒心スル所ニシテ苟モ終腐  
 ノ一端ニ任セル所ナラハ者ニシテ怏然此時運ニ顧念セス一意只  
 自家ノ安寧ニシテ汲々ニ究竟スル事ヲ永續スル所ナラハ  
 ルノミナラス一カ所ノ安寧モ亦併セテ之ヲ期スガラサルニ至ラシカ何  
 ニナレハ銀行ノ業務ニ常ニ利益ヲ興フル者ハ預ケ金ヲ為  
 スノ富者ニアラスニテ及ツテ借財ヲ為スノ高貴ニアリトス然則國

産漸ク減耗ニ貿易随ツテ凋衰セハ高貴ハ愈々營業ニ銀ニ  
 其所得ル所ノ收益ヲ以テ或ハ失フ所ノ利子ヲ償フニ足ラサルニ至  
 ノ如クナレハ歲月ノ久キヲ須クスニテ財理必ス窮塞ニ及令小レシ  
 資産アル者モ終ニ之ヲ蕩盡スルニ至ラン此時ニ尚ツテ銀行者  
 ハ更ニ何人ニ向ツテ其業務ヲ營ニテ為スルカ決シテ吾人ヲ得ハカラス  
 否得ハカラサルニアラスヤ人ナキニ至レリ客ニ之ヲ今日ニテ憂懼セ  
 サルヘケンヤ

情勢此ノ如クト雖モ銀行者ハ素ヨリ其條例ニ準拠スルモノナレハ  
 今直接間産採礦ノ諸業ニ就クヲ得ハカラス且夫殖産ノ業  
 タル實ニ程財ノ基軸ナレハ官亦忽諸ニ付セスニテ必スヤ回復ノ方  
 策アルヘシト雖モ既ニ我本業ノ興廢ニ非スル所ノ如ク夫ハ緊切  
 ナリトセハ須ラク銀行者モ亦應分ノ職ヲ尽シテ其拯救ノ道ニ勉  
 メ関接ニ殖産ノ業ヲ助ケサルハカラス曰ク然ラハ如何ニテ可ナラシム

レクツベルソナルセキテルチノ一抵当トナス義ヲ以テ貸入借ヲ為スノ方法ヲ用  
設セサル可カラス

抑本邦高貴ノ如キ維新ノ志ニテリテハ殊ニ一種ノ株式ニ此レク  
レテ多クハ東洋ノ法制ヨリテ配當ノ利ヲ占メシモノナリ然レニ維新  
以來所々占有ノ私権ヲ剥奪セラル自由ノ營業ヲ得ルニ及テ高  
情俄カニ一變シテ各家ノ旧株ヲ維持スルノ能ハスレテ顛覆破  
産ニ至ルモノモ亦少トセス未タ各私奮起シテ共ニ其資本ヲ合  
約束ヲ修メ規則ヲ設ケ某ノ社會某ノ組合ト稱シテ其業  
ヲ創ルルモノ或ハ士ヲ税シ官ヲ辭シテ其事業ニ從事シテ勳ヲ擢  
興スルト虽モ多クハ請托ヲ事トシ投票ニ因リ進テ止マルヲ曉  
ラス散ニテ東又ルヲ知ラス或ハ喜報ヲ信憑シテ石一ノ僥倖ヲ圖  
リ或ハ暴富ヲ欲シテ遂成ヲ求メ以テ拏獲ヲ一朝ニ決ヤシ  
トスル徒ノミ若シ或ハ旧套ヲ墨守スルモノハ唯祖先ノ遺法ニ因依シ

テ時勢ノ變遷ニ適セス貸財ヲ封鎖シテ泥土ト等シク之ヲ視  
ルモノアリ此ニ因ツテ甲介乙起属古變替シテ錯乱弥甚シク高  
業上ノ信用全ク地ニ墜チテ貸借ノ向恙クテ抵当ヲ要スル者  
ハ殖産ノ多キヲ加ハスレテ貿易ノ否塞スルモノ亦宜ナラスヤ  
近時ニ至リテ其風稍治リ耶カ經營ニ真理ヲ具スル者アルモ  
弊ニテ其資本ニ乏シク加之全般ノ弊習ニ遮断セラレテ常ニ其  
障碍ニ抗シ難ク况ヤ其津涯ニ達スルヲ得スニカカメ下氏ノ  
迄ニ仿佛タルモノアルハ又慨歎ニ堪ハサルナリ

章ニ銀行ノ業勢ノ如キハ條條其規ノ既正ナルト官ニテ教  
誡セラルノ厚キニヨリ曾テ安寧ノ經理ヲ保チ未タ以テ大ナル缺失  
ヲ受ケサルハ實ニ吾人ノ幸福タリト虽モ今日ニ當リテ各自只一  
家ノ安寧ニ汲ヒシテ苟モ殖産ノ根理ニ着意セス高估經營ノ  
当否ヲ識別シテ其信スルキヲ信シテ之レカ業勢ニ資クル所ナク

六決ニテ銀行ノ永續ヲ期スヘカラサルナリ故ニ我カ同業者タル  
 モノハ奮テ故習弊格ヲ掃ヒテ貸付ヲ為スニ於テ人ト物トノ  
 如何ヲ問ハスニテ特リ抵当ノ確實ナルニ拘泥スルナク能ク精  
 神ヲ考察察ニ注キ而シテ高估ノ情態ヲ活眼ニ照ラシ若シモ  
 正途ノ目途ニシテ処行確定ナルモノアレバ勉メテ低利信貸ノ  
 敷ヲ定メテ之カ事ノ業ヲ賛成シテ或ハ經濟ニ於テ害を  
 モノアレハ必ス之ヲ防絶シテ以テ殖産興業ノ効アラセヨク企圖  
 スヘシ斯ノ如キコト得ハ則チ各自々々本分ノ職ヲ尽シテ我業ヲ  
 辱シメサルモノト云ヘキカ敢テ鄙見ヲ陳シテ以テ高論ニ贊ス諸  
 君以テ如何ト為ス